

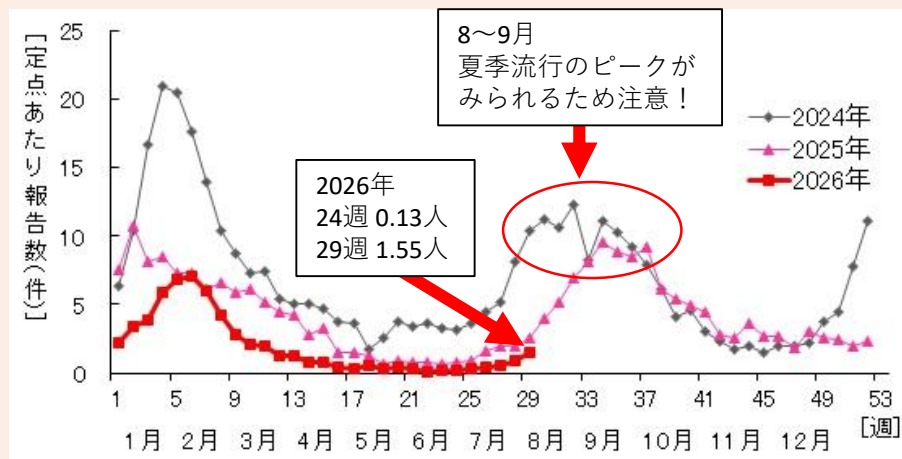


発生動向等サーベイランス情報

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)について



新型コロナウイルス感染症
(栃木県HP)



▲栃木県における新型コロナウイルス感染症の
定点当たり報告数の推移
2024年第1週~2026年第29週 (2026年7月23日現在)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、近年夏季と冬季に患者数が増加する傾向があります。

高齢者施設等では、職員や入所者の体調不良をきっかけに集団感染が発生しやすく、高齢者や基礎疾患のある方は重症化しやすいため注意が必要です。

県内では第24週以降増加傾向にあり、過去2年間は8~9月に夏季の流行のピークがみられています。

今後の感染拡大に備え、手洗いや換気など感染対策を心がけるとともに、利用者や職員の体調変化の把握に努めましょう。

感染対策のポイント

シリーズ25:夏の感染症との区別は?

夏場にも、手足口病、ヘルパンギーナ、アデノウイルス感染症など、発熱する感染症が数多くあります。これらの感染症は、小児だけでなく成人も罹患するため、施設内では新型コロナウイルス感染症と同様に、早期の対策が重要となってきます。

いずれの場合も、初期の症状からは区別が付きにくいいため、発熱者の対応は、より感染力の強い「コロナかも?」と思って一律の応急対策を行うのがよいでしょう。

また、どの感染症であっても、標準予防策を徹底することが、施設内伝播のリスクを抑えることに大きく貢献します。

感染症専門家からのアドバイス



検査結果だけでなく、周囲の流行状況なども踏まえて総合的に判断しましょう。特に、流行期の「検査陰性」には注意が必要です。偽陰性（本当は感染している状態）が潜んでいる可能性があります。